



その先の、道へ。北海道
Hokkaido. Expanding Horizons.

北海道国民健康保険運営方針 (令和2年12月改定)

北 海 道

「北海道国民健康保険運営方針（令和２年１２月改定）」 はじめに

国民健康保険（国保）は、公的医療保険制度の一つとして重要な役割を担っており、国民皆保険制度の最後の砦といえるものです。

国保の制度改革により、平成 30 年度から都道府県は、市町村とともに国保の保険者となり、財政運営の責任主体として中心的な役割を担い、市町村は地域住民と身近な関係の中、資格管理や保険料（税）の賦課・徴収などの事務を引き続き担うなど、都道府県と市町村が一体となって、国民健康保険事業を運営することとなりました。

道では、国保に関する事務を道と市町村が共通認識の下で実施するとともに、事務の広域化や効率化を推進するため、平成 29 年 8 月に、国保の運営に関する統一的な方針として「北海道国民健康保険運営方針」を策定しました。この運営方針では、国保の運営状況等を踏まえ、定期的に検証・見直しを行い、その内容を次期方針に反映させることとしていることから、この度、令和 3 年度からの適用に向けて見直し作業を行い、道民の皆様や市町村からのご意見、北海道国民健康保険運営協議会の答申を踏まえて改定を行ったところです。貴重なご意見をいただいた道民の皆様や市町村、北海道国民健康保険運営協議会委員の皆様に対し、心からお礼申し上げます。

道としては、改定後の運営方針に基づき、引き続き、市町村とともに安定した国保制度の運営に努めてまいりますので、道民の皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

令和 2 年 1 2 月

北海道知事 鈴木 直道

目 次

第1章 基本的事項	1
第1節 策定の目的	1
第2節 策定の根拠規定	1
第3節 国保の被保険者等の役割・責務	1
第4節 運営方針の適用及び見直しの時期	2
第5節 P D C Aサイクルの確立	2
第2章 国保の医療に要する費用及び財政の見通し	3
第1節 医療費の動向と将来見通し	3
1 保険者及び被保険者等の状況	
2 医療費の動向	
第2節 財政収支の改善と均衡	18
1 市町村国保財政運営の現状	
2 国保財政運営の基本的考え方	
3 市町村国民健康保険特別会計	
4 北海道国民健康保険特別会計	
5 国民健康保険保険給付費等交付金	
第3節 赤字解消・削減の取組、目標年次等	19
1 赤字削減・解消計画	
2 赤字解消・削減の取組や目標年次の設定の方法	
第4節 財政安定化基金の使用	21
1 財政安定化基金の設置	
2 特例基金の設置	
3 基金の使用の基本的な考え方	
第3章 納付金及び標準的な保険料（税）の算定方法	23
第1節 目指す姿	23
第2節 現状	23
1 保険料（税）の賦課状況	
2 保険料（税）の賦課方式	
3 応能割と応益割の賦課割合	
4 賦課限度額の設定状況	
5 地域差（保険者間）の状況	
第3節 保険料水準の統一	25
1 保険料水準の統一について	
2 保険料（税）率の統一について	
3 統一保険料率に向けて	
4 保険料率算定における応能・応益割合の変更	
第4節 納付金の算定方法	27
1 応能割と応益割との構成割合（所得反映係数 β の設定）等	
2 応益割における均等割と平等割との割合	
3 医療費水準の反映割合（ α の設定）	
4 高額医療費の共同負担	
5 必要総額の調整（ γ の設定）	
6 賦課限度額	
7 納付金の精算	
第5節 激変緩和措置	29

1	納付金算定方法の設定	
2	国の特別調整交付金等の活用	
3	特例基金繰入の活用	
第6節	標準的な保険料（税）の算定方式	30
1	標準的な保険料（税）の算定方式	
2	標準的な収納率	
3	健康づくりの費用	
4	市町村標準保険料率	
第7節	納付金算定における葬祭費及び出産育児一時金の取扱い	31
第8節	納付金及び標準保険料率算定の全体像	31
1	医療分と後期高齢者支援金分、介護納付金分の算定	
2	退職被保険者及び被扶養者に係る納付金	
第4章	保険料（税）の徴収の適正な実施	35
第1節	目指す姿	35
第2節	現状	35
1	保険料（税）の収納率の推移	
2	収納対策の実施状況	
第3節	収納対策	36
1	収納率目標	
2	収納率目標達成のための取組	
第5章	保険給付の適正な実施	38
第1節	現状	38
1	レセプト点検の状況	
2	第三者行為求償事務の状況	
3	不正請求事務の状況	
4	海外療養費事務の状況	
5	柔道整復、はり・きゅう、あんま、マッサージの状況	
第2節	道による保険給付の点検、事後調整	40
1	同一医療機関で算定回数が定められている診療行為等	
2	大規模な不正利得事案に係る返還金の徴収等	
第3節	療養費の支給の適正化	40
1	海外療養費	
2	柔道整復、はり・きゅう、あんま、マッサージ	
第4節	診療報酬明細書等の点検の充実強化	41
1	点検項目一覧等の作成	
2	研修会及び現地助言の実施	
3	医療給付専門指導員による助言	
第5節	第三者求償の取組強化	41
第6節	不正請求への取組強化	42
第7節	高額療養費の多数回該当の取扱い	42
1	世帯の継続性の判断	
第6章	医療費の適正化の取組	43
第1節	現状	43
1	特定健診の受診状況	
2	特定保健指導の実施状況	
3	受診率向上に関するこれまでの支援	
4	医療費通知の実施	
5	後発医薬品の普及促進	
6	重複受診や重複投薬への訪問指導の実施状況	

7	市町村保険者に対する助言	
第2節	医療費の適正化に向けた取組	46
1	特定健診受診率、特定保健指導実施率の向上	
2	保健事業実施計画の策定及び推進	
3	生活習慣病対策としての発症予防と重症化予防の取組	
4	たばこ対策	
5	歯と口腔の健康づくり	
6	重複受診や頻回受診等に係る指導の充実	
7	適正受診及び適正投薬の推進	
8	後発医薬品の使用促進	
第3節	医療費適正化計画との関係	51
1	北海道医療費適正化計画との整合性	
第7章	事務の広域的及び効率的な運営の推進	52
第1節	広域的及び効率的な運営の推進に向けた取組	52
1	国庫負担金等の申請及び実績報告の効率化	
2	基準の統一化を検討する必要がある事務の取扱い	
3	市町村事務処理標準システム及び事務処理マニュアルを活用した事務の効率化・標準化・広域化・適正化	
4	その他	
第8章	保健医療サービス及び福祉サービス等に関する施策との連携	55
第1節	保健医療サービス及び福祉サービス等との連携	55
1	国保データベースシステム等情報基盤の活用	
2	保健医療と福祉サービスに関する施策等の連携	
3	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施	
第2節	他計画との整合性	55
第9章	北海道の国保の健全な運営	56
第1節	北海道国民健康保険市町村連携会議の設置	56
第2節	運営方針の見直し等	56
附属資料		
○	参照条文	57
○	用語解説	60
○	統計数値	69
○	改定の経過	110
○	(参考) 北海道国民健康保険運営協議会委員名簿	112

本文中「*」が付いた用語は、附属資料「用語解説」に掲載している。

